

回文 (+二文字しりとり物語)

2022/7/27

こじままじこ (小島裕子)

今回は回文の他に、以前、野本変集鳥が紹介してくださった和田誠の「ことばのこぼこ」をヒントにして、「二文字しりとり物語」と題した小さな物語を作ってみました。今回の回文にお題はなく、「回文あれこれ」です。

ちょっと忙しかった(?) ので、今回はポストシリーズ、お休みです。

庭でおじさん
サンダル履いて
凍てつく夜には
二杯の熱燗
缶詰つまみに
ミニ飲み会で
出でたる友は
もはや居ないが
意外や意外
街灯の下
親しい友いた
傷んだ埴輪

【二文字しりとり物語】

「回文あれこれ」

きっとよきつまはまつきよとつき (きっと良き妻は待つ気よ、十月)

ひきようよまさかすでにあれあんなひわたしにしたわひなんあれあにですかさまよう
よきひ

(卑怯よ、まさか既にあれ、あんな日私にしたわ非難、あれ兄ですか、彷徨う良き日)

はんけつそうくるかはんにんはかるくうそつけんは

(判決、そうくるか、犯人は軽く嘘つけんわ(は))

なんでしんきかいてんでかつとをとつかでんていかきんしでんな

(なんで新規開店でカットを特価でん。定価禁止でんな)